

産廃車追跡システムで 依頼主の信頼性をアップ

「回収業務の
情報公開は当社の
アピール材料になった」

白井エコセンター 滝口千明社長



効果を上げたモバイルはこれ!

業種	産業廃棄物収集運搬業
活用分野	運搬収集車の追跡管理、回収作業通知、業務効率化
テクノロジー	GPS携帯電話、ASPサービス「GPS追跡管理システム」

企業が排出する廃棄物の回収・運搬事業を手がける白井エコセンターは、システムベンダーのアイティフォーがASPサービスとして提供する収集運搬GPS追跡管理システム「ECOエリート」を導入。運搬車両の位置情報収集や作業指示の自動通知機能などにより、現場作業と業務管理の効率化を実現するとともに、依頼企業に対するトレーサビリティ、コンプライアンスも具現化した。

これに基づき、ドライバーは廃棄物回収 処分場へ運搬 廃棄 日報作成という一連の作業を行っていた。

しかし、個々のスケジュール、ルート設定、ドライバーの作業を一元的に管理することができなかった。また、適正な回収処理業務を実施したことを証明するための報告書作成は、法規定に沿った様式が求められるため、その負荷も大きかった。

滝口千明社長は、「業務全体の一元管理とともに、適正な回収業務の実施を証明できるような仕組みはないものかと思っていました」と、当時の悩みを打ち明ける。

この相談を受けたアイティフォーは、KDDIと共同で、携帯電話を使い車両の位置確認や業務指示などが

行える「収集運搬GPS追跡管理システム」を開発。さらに、低コストで導入できるよう、「ECOエリート」の名称で他の廃棄物処理企業にも横展開できるASPサービスに仕上げ、同社に提供することとした。

▶ 報告書も自動で作成
1人1日1.5時間の業務短縮に

新システムでは、ドライバーに配布したBREWアプリ搭載のau携帯電話（W31T）から送信されるGPS情報をセンターサーバで収集。運搬車の走行経路が自動作成され、白井エコセンター社内の管理用PCでリアルタイムに確認できる。また、ドライバーには、作業に関する指示や警告がセンターサーバから携帯電話へ音声付メールで自動送信されるため、効率的な作業が行える。

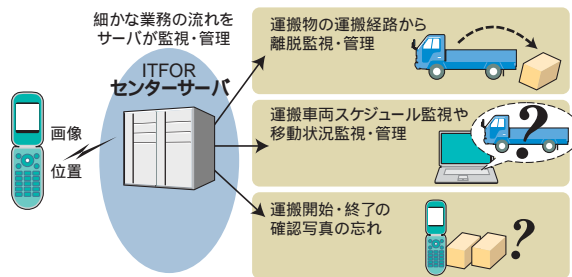
さらに、携帯電話のカメラで撮影した処理現場の写真を取り込んだ完了報告書も自動作成が可能となった。

これにより、作業指示・伝達・資料作成など業務にかかる時間が、1人当たり1日約1.5時間も短縮できた。加えて滝口社長は、「適正な回収・処理業務に関する情報公開への取り組みとして、お客様に対するアピール材料にもなっています」と、その効果を高く評価している。

▶ 回収業務のルート設定や 実施報告をスムーズに行いたい

同社では従来、顧客企業ごとに定めた年間の回収・運搬スケジュールに、個々の集荷場所などの情報を加味して、各日の回収ルートを設定。

「ECOエリート」の仕組み



使い慣れた携帯電話なので、アプリケーションの操作も簡単

Profile

白井エコセンター株式会社
http://www.shirai-g.co.jp/

本社所在地 東京都足立区入谷5丁目16番28号
設立 1973年8月9日
資本金 1000万円

事業内容

リサイクル流通センターおよび廃棄物の収集運搬事業、家電リサイクル指定引取場所